

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 2011 確定要求書の提出等について
交渉日時 平成23年11月11日（金） 15時00分～17時00分
交渉場所 うじ安心館 3階大会議室
交渉出席者 当局側 久保田市長 平本人事監 宇野次長 星川人事課長 石田主幹
山田主幹兼人事研修係長 雲丹亀給与係長
組合側 田中執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計13人

概 要	2011 確定要求書の提出等に関する交渉を行った
組合の主張	<p>① 今年の確定交渉は、国が人事院勧告を見送る中での交渉となった。団塊の世代の大量退職後、若い職員の比率が高まってきており、若い人のやる気を見出すとともに、団塊の世代後の50歳代はそのあとを受け継ぎ、業務を担う世代であり、ここにどう光をあてるかが問われる。要求書は、組合員のアンケートを踏まえて作成した。よく検討してほしい。</p> <p>② 清掃について、特殊勤務手当の減額や民間委託化など、今まで組合として苦渋の決断をしてきた経過がある。現場は、ごみ削減の啓発活動、ふれあい収集、年末の全市収集などをやってきた。手当を下げる話ばかりではなく、清掃事業をどうやって高めていくのか、時間をかけて議論してやっていくべきである。</p> <p>③ 上下水道の統合に関して、時間外勤務を36協定内に抑える業務体制の構築はどうするのか。それに向けての当局の明確な方針や姿勢が見えてこない。</p>
当局の主張	<p>① 要求については、誠実に検討し、後日回答する。</p> <p>② 年末の全市収集は、市民の方に、年始を気持ちよく迎えていただくための市民サービスで、全国的にも例のない取り組みであり、また、ふれあい収集についても市民の方に喜ばれており、清掃の働きには感謝している。</p> <p>③ 今後、適切に対応したい。</p>